

診療科紹介① 消化器外科



副病院長 種村 匡弘

(兼) 診療支援局長
消化器外科主任部長
がん治療センター長

1. 「消化器外科」のキャッチフレーズ

消化器外科では「おなかの病気、まるごと支える360度チーム。～低侵襲手術と最新の集学的治療で、確かな明日へ～」をモットーに、日々の高度な外科診療を展開しています。

2. 消化器外科の「ここが自慢!」

当科の最大の強みは、各領域の専門医・指導医を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士などの多職種が緊密に連携する「360度チーム医療(周術期管理)」です。胃癌、大腸癌、膵癌などの悪性腫瘍に対する「集学的治療」から、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、胆石症などの良性疾患まで幅広く網羅し、エビデンスに基づく質の高い医療を提供します。泉州地域の基幹病院として、24時間365日体制で救急疾患にも迅速に対応し、地域の皆さまと開業医の先生方の信頼に応えます。

3. 最新治療のご紹介

当科では、早期回復と低侵襲性を追求し、「腹腔鏡下手術」および手術支援ロボットDa Vinciを用いた「ロボット支援下手術」を積極的に導入しています。術後疼痛の軽減により、早期の社会復帰(Short-stay surgery)を可能にしています。さらに2026年度からは、この低侵襲アプローチを高度な技術を要する食道癌や膵臓癌などの悪性疾患、ならびに鼠径ヘルニアなどの良性疾患の外科治療にも順次拡大し、世界水準の緻密な術式を地域医療へ還元しています。

4. スタッフ紹介:副病院長・主任部長 種村より

「世界に通用する高難度技術を、地元の皆さまへ」。当科には、高い志と専門性を有する若手からベテランまで強固な医局陣が揃っています。私は副病院長およびがん治療センター長として、患者さん一人ひとりの声に真摯に耳を傾ける診療を最も重視しています。近隣の先生方との強固な病診連携のもと、ご紹介いただいた患者さんが「この病院に来て本当によかった」と笑顔で日常に戻れるよう、チーム一丸となって全力を尽くします。消化器疾患に関するご紹介やご相談は、いつでもお気軽に当科へお寄せください。

診療科紹介② 消化器内科

消化器内科 主任部長 山原 邦浩



当科は各種学会の認定・指導施設であり、大学病院からの医師派遣を含む常勤医6名体制で、消化器全般(上下部消化管・肝胆膵領域)の高度な専門医療を地域に提供しています。

主な先進的治療・診断の取り組みは以下の通りです。

●内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)

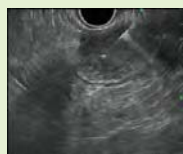
早期の胃・食道・大腸がんや腺腫に対し、専用の電気メスで病変を一括剥離・切除する低侵襲治療です。外科手術に比べ身体への負担が極めて少なく、消化管の形や機能を温存できるた



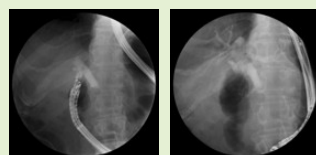
め、術後のQOL(生活の質)低下を最小限に抑えられます。

●超音波内視鏡(EUS)による高精度診断・治療

先端のエコー装置により、通常の胃カメラや体外からの検査では難しい消化管の壁深部(粘膜下腫瘍)や、膵臓・胆のう・胆管などを高解像度で詳細に観察できます。特に早期発見が難しい膵・胆道疾患の精査に有用です。さらに、リアルタイムで安全に組織を採取する針生検(EUS-FNA)や、手術をせずに体内の膿などを排出するドレナージ術といった高度な処置も行っています。



このように、患者さんの負担が少ない「低侵襲かつ効果的な治療」の選択肢を幅広く提供しています。



診療科紹介③ 総合内科・感染症内科



診療局次長 倭 正也

(兼) 内科統括
総合内科・感染症内科主任部長
感染症センター長
臨床研修センター長
院内感染対策室長 産業医

私たち総合内科・感染症内科は、「病気だけでなく、人を診る」をモットーに診療を行っています。発熱、体重減少、倦怠感など、容易に診断にたどり着けない症状や、複数の病気が関係する複雑な症例に対して、患者さんのお話や診察所見を大切にしながら、臓器別ではなく全身を診る視点で診断と治療に取り組んで

います。どの診療科を受診すればよいか分からない患者さんや、診断に難渋する患者さんにとっての相談窓口となることも、私たちの重要な役割です。また、感染症診療は当科の大きな強みの一つです。肺炎や尿路感染症などの一般的な感染症から、不明熱や診断・治療に専門性を要する感染症まで幅広く対応しています。適切な抗菌薬治療と感染対策を通じて、安全で質の高い医療の提供に努めています。総合診療では、必ずしもすべての症例で明確な診断にたどり着けるわけではありません。私たちも時に悩み、患者さんとともに経過を見守ることがあります。しかし、そのような時こそ患者さんに寄り添い、多職種や各専門診療科と連携しながら、少しでもよい医療につながる道を探し続けます。これからも地域の先生方や医療機関との連携を大切にしながら、患者さんに信頼される総合診療と感染症診療を提供してまいります。